

取扱説明書 初版

ポータブル電源 HG-P01

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり、内容を理解してからお使いください。

★お買い上げから時間を空けず、直ぐに満充電にしてください。



1 安全にお使いいただくために

警告

禁止

- 電源コードは付属品以外は使用しないでください。感電、ショート、発火の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが破損していたり、コンセントの挿込みが緩い時は使用しないでください。感電、ショート、発火の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。感電、発火の原因になります。
- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らずに電源プラグを持って引抜いてください。破損したり、感電やショートして発火する恐れがあります。
- 本機を濡らしたり、濡れた手で本機に触らないでください。感電の恐れがあります。
- AC出力および、DC出力、USBポートなどにピンなどの金属を挿込まないでください。
- ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所に立ち入る場合は、使用しないでください。
- 火のそばや炎天下、ストーブの近く、高温になった車の中などで使用、保管しないでください。
- 火の中に入れて、電子レンジやオーブンなどで加熱しないでください。
- 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。
- 分解や改造を絶対にしないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 接続部に直接触れたり、指を挿込んだりしないでください。
- 本機を充電する場合は、DC12V、AC100V以外の電圧での充電は、絶対に行わないでください。本機やバッテリーが過熱、発火、爆発する恐れがあります。
- 次のような機器では使用しないでください。
 *医療機器や使用上、生命に関わるような機器
 *社会的、公共的に重要な機器
 *重要な事業用機器
 *最大消費電力を超える機器

指示

- 使い方を誤ると、発熱・発火・破裂によりやけどや大けが・失明の原因になります。

注意

禁止

- 本機をたたいたり、重いものを載せたり、踏みつけたり、落下させるなどの衝撃や力を与えないでください。また、運搬や取扱いの際は、振動や衝撃を与えないでください。
- 不安定な場所に置かないでください。
- 短期間でも本機のバッテリーを完全放電した状態では放置しないでください。バッテリーが使用できなくなります。

指示

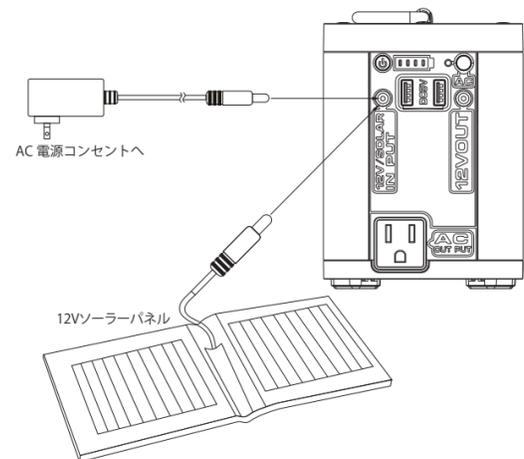
- 使用中、保管中に、本機から異臭、異音、発煙、異常な発熱、変色、変形、破損などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
 *コードを接続機器から抜く。
 *接続機器の電源を切る。*使用を中止する。
- 本機を保管する場合は、風雨の当たる場所、高温・多湿、ほこりっぽい場所は避けてください。本機の故障の原因になります。
- 使用しない時は、必ず各種コードを除外してください。
- 使用する機器を本機に接続する際は、各機器の取扱説明書をよく読み、接続をしてください。誤った接続、指定以外のコードを使用すると、火災や感電の原因になります。
- 使用しない場合でも月1回は充電をしてください。
- 充電をする際は、周囲の温度が0~40°の範囲内で使用してください。これ以外の温度では、バッテリーの性能、寿命を低下させるとともに、漏液や火災、爆発の原因になります。
- 本体の汚れは、中性洗剤を薄めて拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどで拭くと変色の原因になります。

電池のリサイクルについて

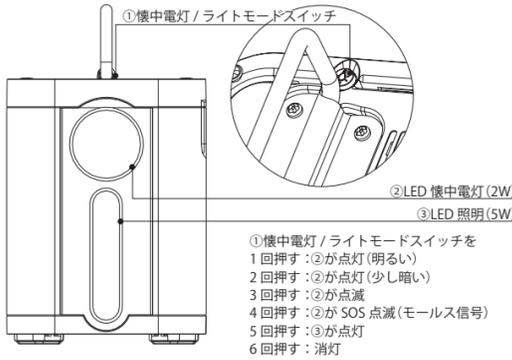
本機は、リチウムイオン電池を内蔵しています。この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
 ご使用済みの製品は、分解せずにそのまま最寄りのリサイクル協力店に設置してある「充電式電池リサイクルBOX」に入れてください。
 充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRC ホームページ <https://www.jbrc.com> を参照してください。

5 充電の仕方

- 1 本機に標準装備されている充電器の AC 電源プラグを家庭用 AC 電源コンセントに接続し、標準の充電器の DC コネクタを本機の DC12V 入力 (12V IN PUT) コネクタに挿込みます。
- 2 本機の充電中は、バッテリー残量ゲージ「」が点灯し、電源が完全に充電されるとランプが4つ点灯します。
- 3 12V ソーラーパネル (オプション) でも充電が出来ます。12V から 18V のソーラーパネルの DC コネクタを本機の DC12V 入力 (12V IN PUT) コネクタに挿込みます。ソーラーパネルを強い日差しの方角に向けます。ソーラーパネル角度は、適宜調整し最大の充電効果が得られるようにします。



6 ライトの使い方



7 電源の使い方

AC 出力コンセントを使用する場合

1 電源スイッチボタンを押し、AC 電源ボタンを約 5 秒間長押しすると、AC インジケータが青く点灯します。
 注 : 使用していない時は電源スイッチボタンを押し OFF にしてください。

2 本機の AC 出力コンセントに電気機器の電源プラグを奥まで確実に挿込みます。AC 出力中に本機が発熱するのは正常です。消費電力が 100W を超えると、本機は自動的に保護回路が作動し停止します。

3 AC 出力が短絡しているか過負荷になっていると、AC インジケータが赤く点灯するか点滅します。

警告

- 電気機器を本機に接続する前に、必ず電気機器のスイッチが切れていることをご確認ください。
- 濡れた手で接続しないでください。感電、ショート、発火の原因になります。
- 雨中や浴室などの湿った場所、濡れた場所では使用しないでください。
- 次のような機器では使用しないでください。
 *医療機器や使用上、生命に関わるような機器 *社会的、公共的に重要な機器
 *重要な事業用機器 *最大消費電力を超える機器

注意

- 本機を使用する前に、接続する機器の最大及び定格消費電力をご確認ください。
- 周囲の温度が0~40°の範囲内でご使用ください。
- 残容量が0%になった場合など、急に出力が停止することがあります。パソコンなどを操作中に保存していないデータが消失する恐れがありますので、こまめな保存をしてください。
- 定格出力以内 (100W) でも使用できない場合があります。
 *力率、モーター内蔵等
- 低い出力 (AC6W、DC0.7W以下) では作動しません。

2 主要諸元

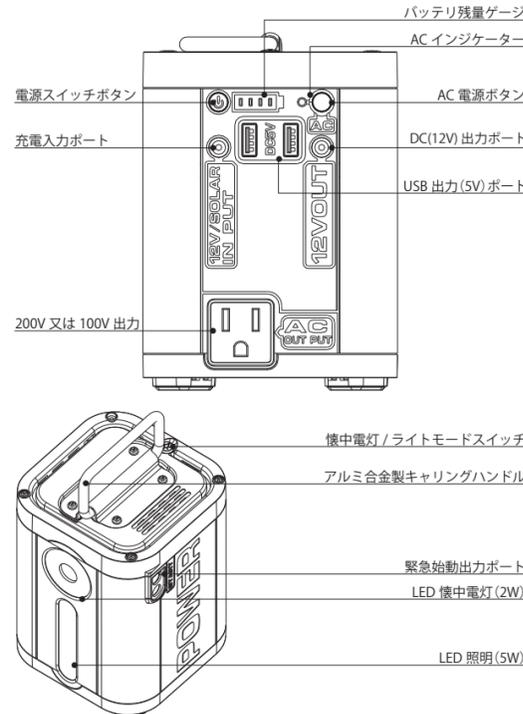
モデル名	HG-P01
バッテリー容量	リチウム 26800mAh/99Wh
定格出力	100W
出力波形	修正正弦波
AC出力電圧	100V/60Hz
AC入力電圧	AC100V±10%
DC出力	最大12V/6A
DC入力電圧	12.6V/1A~2A
USB出力	5V/2.4A
カーイグニッション	ECS 12V / 500A (最大 600A)
LED懐中電灯	2W SOS機能搭載
LED照明	5W
充電時間	12.6V / 1Aアダプター (26800mAh) 9時間 12.6V / 2Aアダプター (26800mAh) 4.5時間
バッテリー残量ゲージ	4段階表示
充電可能回数	1000回以上 (使用環境による)
使用可能温度	-20℃~60℃
サイズ	W103×D103×H133mm
本体重量	1.3kg

*AC…交流 DC…直流
 ※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品 (部品やカラーも含め) の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解、ご了承ください。

3 梱包部品一覧表



4 各部の名称



USB 出力ポートを使用の場合

- 1 電源スイッチボタンを押し、AC 電源ボタンを約 5 秒間長押しすると、AC インジケータが青く点灯します。
 注 : 使用していない時は電源スイッチボタンを押し OFF にしてください。
- 2 USB (5V/2.4A) 出力ポートにスマートフォンやタブレットの USB コネクタを奥まで確実に挿込みます。

注意

- USB コネクタを抜く時は、USB コードを引っ張らずに USB コネクタを持って引抜いてください。

DC 出力ポートを使用の場合

- 1 電源スイッチボタンを押し、AC 電源ボタンを約 5 秒間長押しすると、AC インジケータが青く点灯します。
 注 : 使用していない時は電源スイッチボタンを押し OFF にしてください。
- 2 DC (12V) 出力ポートに付属の DC アダプタを挿込むことで、シガーライターとしてお使いいただけます。

注意

- DC12V 以外では使用しないでください。

緊急始動出力ポートを使用の場合

- 1 車の緊急始動出力ポートに付属の自動車用イグニッションケーブルのプラグを挿込むことで、バッテリー上がり時のジャンピングスタート (緊急始動) としてお使いいただけます。 (-20℃~60℃の温度範囲で使用可能)

【使用手順】

1. 本製品を満充電にする。
2. イグニッションケーブルを緊急始動出力ポートに挿込むと、緑と赤のランプが交互に点滅。
3. イグニッションケーブルの赤 (+) のクランプを自動車のバッテリーの (+) に接続する。
4. イグニッションケーブルの黒 (-) のクランプを自動車のバッテリーの (-) に接続する。
5. この状態で緑のランプが点灯。
6. 点灯していない場合は、起動ボタンを 3 秒間押すと緑のランプが点灯。
7. 車のトランスミッションは、AT 車はパーキング、MT 車はニュートラルに入れる。
8. エンジンが始動したら、イグニッションケーブルを必ず黒 (-) 赤 (+) の順で取外す。

注意

- トラックは電圧24Vと高圧であるため使用できません。
- エンジン始動前にサイドブレーキがしっかりと掛かっていることを確認してください。
- バッテリー上がりの場合、バッテリー自体の寿命や損傷の可能性があり、エンジンを止めると再び始動できない場合も考えられます。本機による対処は、あくまで応急処置のため、早めにディーラーや専門店にて点検してください。
- 自動車用イグニッションケーブルのランプが点滅しない時や、緑に点灯しない時は、充電が足りていません。満充電にしてからご使用ください。